

鹿児島国際大学看護学部 × 中国・湖南省社会科学院



1月13日（月）

湖南省社会科学院「湖南省人民政府発展研究センター」から7名の先生方と、経済学部 康上先生、康上先生の博士後期課程の院生4名の計12名が看護学部を訪問されました。

~湖南省について~

湖南省は鹿児島市と友好都市となっている長沙市の所在地です。



今回、調査のために鹿児島を訪問されました。

目的として湖南省の急速な高齢化への対策が喫緊の課題であることから、社会全体の高齢者サービスへの増大するニーズに効果的に応えるため、世界で最も早く高齢化社会に突入した日本の高齢者サービスシステムを参考に湖南省で発展させたい、との強い思いを持たれて訪問してくださいました。

本学部では、堤学部長より本学部の紹介をしたのち、伊敷キャンパス内のキャンパスツアーを行いました。7名の先生方からは、看護学部ではどのように人材養成を行っているのか、卒業後の就職先など、たくさんのご質問をいただきました。

中国では男性も分娩介助ができることや、「保健師」という言葉がないなど、日本との違いがあるようです。先生方は特に高齢者ケアに関することに大変関心をもたれている様子でした。

今回、本学部の学生は参加できませんでしたが、1年生がキャンパスライフを動画にまとめて紹介してくれました♪

伊敷キャンパス
キャンパスツアーの様子



我们的学校生活

- 4月 长门镇委员会的鲤鱼旗
- 6月 区域探索fieldwork
- 7月 第一学期期末考试
- 8月 开放校园
- 11月 人生探索fieldwork
- 12月 圣诞晚会
- 1月 第二学期期末考试





湖南省社会科学院の先生方より、記念品として素敵な掛け軸をいただきました。



キャンパスツアー後はリフレッシュルームにて、国際交流委員会主催の交流会を行いました。
看護学部教員による呈茶のおもてなしをさせていただき、教員、事務職員、学生が参加しました♪



今回、経済学部 康上先生のご尽力のもと、貴重な交流の機会となりましたこと、感謝申し上げます。本学部としましても、中国の看護や介護の現状についても理解を深められる機会となりました。

湖南省社会科学院の先生方、及び康上先生、誠にありがとうございました。